

## 170209その他における死傷災害100事例（-2017年）

No	年	月	発生 時	死傷災害事例	年 齢	事 故 の 型	起因物 (小)	労働 者規 模
1	2017	12	11~12	プールサイドから水中ウォーキングの指導をしているとき、右・左に5回ジャンプし、そのあと回転するという動作の手本を見せているとき、腰を捻った。その後、腰から左足にかけて痺れだし、病院を受診したところ、第3腰椎と第4腰椎の間が狭くなっており、神経を圧迫しているために痺れが出た。	65	19	921	50~ 99
2	2017	12	11~12	学童クラブの室内で、子ども同士のケンカがあり仲裁に入った際、子どもの肘が右胸横側に入り当たった。痛みが伴うため湿布を貼って業務を続けていたが、室内で玩具の片付け中に子どもが指導員の前を通ったときに子どもの手が痛めた右胸横側に当たり、痛みが増し、業務を続けることができなくなった。	59	90	911	—
3	2017	12	13~14	広告をポストに投函中、戸建ての外階段を降りる際に躓き、4段目から落下した。その際、左肩を強打し、左鎖骨を折った。	59	1	413	10~ 29
4	2017	12	11~12	休憩のため休憩室に向かった際に、階段を踏み外して転倒し、負傷した。	55	1	413	30~ 49
5	2017	12	15~16	取引先に車で向かう途中、交差点で赤信号で停車していたところ、後方から来たタクシーに追突された。追突の衝撃で頸部を捻挫した。	35	17	231	10~ 29
6	2017	12	0~1	当方バイクで道路走行中、前方を走っていた相手車が速度を緩めたため、左側に停車すると思い右側から追い越しに入ったところ、相手ライトバンが停車でなく急に右に転回して来たため	42	17	231	50~ 99

				め、当方バイクと相手右側前タイヤ付近に接触し、転倒したものである。				
7	2017	12	11~12	助手席に同乗し、取引先へ向かう途中、交差点を青信号で直進中、対向右折車と衝突した。	48	17	231	10~ 29
8	2017	12	21~22	就業中、雪の濡れたコンクリート床で滑り、膝をつき転び、半月板を痛めた。	30	2	719	10~ 29
9	2017	11	14~ 15	納骨堂1階を清掃中、転倒した。	49	2	416	1~9
10	2017	11	10~ 11	営業所にて、預かり中のお客様の自動車を搬送する為に、積載車に積み込みお客様の自動車のドアを閉め、自身が方向を変えて積載車の荷台から降りようとする際左足を踏み外してしまい、荷台から地上までの50cm程の高さから落下し、大腿骨を骨折してしまった。	41	1	221	1~9
11	2017	11	10~ 11	給食の入ったコンテナを配送車から荷受場所に降ろす時、配送車と荷受場所の段差を調節するリモコン操作を忘れて後向きで降ろそうとした時、約20cmの段差があったためコンテナと一緒に背中から倒れ下敷きになった。右脇を負傷し病院へ搬送された。	65	1	221	50~ 99
12	2017	11	23~ 24	請負先事業場において、終業後帰宅するために事業場内倉庫を出口に向かい歩いていた。消灯されて真っ暗だったため、貨物用の秤があることに気が付かず、ぶつかって転倒してしまった。	47	2	391	30~ 49
13	2017	11	11~ 12	管理課より建物西側にある柿の収穫の依頼を受け、設備員2名にて収穫作業を開始した。脚立を梯子状態にして枝に立て掛け、鋸を使用した剪定作業中にバランスを崩して転落し、腰を強打した。歩行は可能であるが腰部に痛みがあるため、整形外科で受診した。圧迫骨折の疑いがあるため、翌日にMRI検査を受けた。検査結果を持って病院で診断を受け、圧迫骨折で	64	1	371	50~ 99

				全治1ヶ月となり、入院のため別の病院へ転院となった。				
14	2017	11	10～ 11	広場の排水枴清掃作業中に、枴から外して立て掛けていた約40kgのグレーチングを一人で運ぼうとして、中腰で前かがみになりグレーチングを持ち上げたところ腰に強い痛みが生じた。しばらく作業を続けたが徐々に痛みが増してきたため病院で受診の結果、筋々膜性腰痛症との診断であった。	49	19	419	10～ 29
15	2017	11	4～5	第二教室で後片付けをしている時に、Pタイルの床に水が少し滴っており、気が付かずに滑って左手をついて骨折した。	59	2	417	10～ 29
16	2017	11	14～ 15	スタンド内で4tローリーに軽油の積み込みをし、終了後、計量機のホースノズルを持って、トラックの荷台から、降りようとした時に、滑り落ち、踵から着いてしまった。	70	2	417	100 ～ 299
17	2017	10	7～8	製氷工場で氷の脱氷作業中、ベルトコンベアに流れて来た氷を貯蔵庫へ移動中氷同士の溶着を防止するため荷鍵で隙間を作る作業中、氷から荷鍵が外れベルトコンベア上の作業スペースから1m下の床面に落ちた。	27	1	416	100 ～ 299
18	2017	10	22～ 23	営業活動終了後、事務所に戻るために高速道路を社有車の助手席に同乗していた。当時激しい雨が降っており、その雨によりタイヤがスリップし、ハンドルとブレーキが利かなくなり、左右に激しく回転し中央分離帯に衝突・停車した。その際に車内で左腕を強打し骨折した。	29	17	231	10～ 29
19	2017	10	18～ 19	店舗厨房内で、鶏肉のカット作業中に、手を滑らせ左手人差し指を切り、受傷した。	27	3	379	10～ 29
20	2017	10	10～ 11	マンションのエントランス下の階段の掃き掃除をしていたところ、端の低い階段につまずき、手首を捻って右手をつき、右手関節を骨折する。	68	2	413	100 ～ 299
21	2017	10	21～ 22	営業所にて荷役台の積み上げ作業中に、重ねた荷役台に足を挟んでしまい後ろ向きに転倒した。手をついた際に左手親指の	54	1	379	100 ～

				付け根あたりを骨折（ひび）してしまった。				299
22	2017	10	18～ 19	出航予定の船の、出港作業のため、24ビットでもや（緊船ロープ）を外す作業中、T-7バース着岸船船首側のもや2本と、T-6バースの本船もや4本が24ビットで合もや（両方のもやが掛かっている状態）になっており、本船もや4本中3本が緩み、本船出港スタンバイとなったため、被災者と他1名にて作業に入り、他者が緩んだもやを引っ張り手繰り、被災者がビットからもやを外していたところ、1本目を外し2本目を外すときT-7の船のもや（直径約10センチ）が跳ね上がり被災者の左足頸に当たり受傷した。	37	6	379	10～ 29
23	2017	10	18～ 19	【事故発生状況】出張のための宿泊先ホテル付近の横断歩道内（歩行者信号：青）にて、歩道内に入線しようとした右折車により衝突された。事故車の不注意によるものと思われる。事故後、警察による事故の実況見分が行われた。【本人の状況】意識はかなりしっかりとしている状態であるが、骨盤の骨折と頭部打撃傷があり詳細は検査中とのことである。	59	17	231	1000 ～ 9999
24	2017	10	16～ 17	海辺の建物の玄関付近においてマイクロバスを駐車し、運転席から降りようとしてドアを開けたところ、風速30m程の突風が吹き、ドアが外側に大きく開いたため、押さえようとしたがドアとともに引っ張られて右腕を負傷した。	66	7	231	1000 ～ 9999
25	2017	10	15～ 16	消防設備点検物件の駐車場にて強風の中間検資料が飛ばされ、隣の敷地に落ちたので取ろうとブロック塀に乗ろうとしたところ、上部のブロックごと崩れて隣の敷地3m下に落下した。	50	1	418	30～ 49
26	2017	10	14～ 15	検針後、お知らせを投函する為に、マンションに入る際、入り口の段差につまずき受け身が取れずい転び、頭部左側を強打。	56	2	419	30～ 49
27	2017	9	14～	一般レーンの13ブースで勤務中、普通車のお客様が千円札で支払い、受け取る際にお札がブース後方アイランドの上に飛ばされた。収受を終え、お客様が通過した後、急ぎ取りに行っ	71	2	417	100 ～

			15	たところ、足を踏みはずしてころび、右手のひらが車両センサー止め金具に触れ、裂傷を負った。				299
28	2017	9	13～ 14	休憩からカウンター場所に戻る際、下り階段から4段ほど落下、階段に足が着地する際、足が内側に入ってしまったため、落下し左足首の内側と外側の両方を骨折した。	51	1	413	30～ 49
29	2017	9	8～9	派遣先事業所内の廊下で足を滑らせ転倒。転倒時、腰部・臀部・左手首等を強打し受傷。	42	2	417	500 ～ 999
30	2017	9	11～ 12	図書館のカウンター業務中、利用者様より返却された紙しばいが左目に当たり、その後だんだんと腫れてきた。	41	6	911	50～ 99
31	2017	9	14～ 15	被災者は、ドライドックNo.5にて、他の作業員とエアークラッシュを使用し、シャフトボルトを締めていた、他の作業員が操作し、被災者は作業員の横で支えていた、作業員がエアークラッシュを次のボルトに移動した際、スイッチに無意識に触れるか動かしてしまい、エアークラッシュがリバースモードになった。そのまま作業員が操作レバーを握った際、エアークラッシュが逆方向に作動し、被災者の顔に当たった。その際、顔面打撲、上下唇裂傷及び歯の一部を欠損した。	26	6	364	1000 ～ 9999
32	2017	9	19～ 20	店舗の金庫を左手で勢いよく締めたところ、右手でドアを支えていたため、右の親指が挟まってしまい負傷。痛みはあったが当日は遅かったので、翌日病院を受診、レントゲンをとったが骨に異常なし、その後、ヒビが入っているかもしれない、また爪の内出血もしており、痛みがひどいため、痛み止めを処方される。	36	7	391	10～ 29
33	2017	9	15～ 16	車庫にてポンプ車整備中に足をひねってしまい左足首を捻挫したものである。	22	2	999	1～9
				営業活動中、田んぼ道で、夜間の街灯がほとんどない場所だっ				

34	2017	9	20～ 21	たため、暗くて足元が見えず、道路脇に深さ1.5メートルほどの側溝があることに気づかず、誤って側溝に転落し、左ひざを負傷した。	27	1	418	10～ 29
35	2017	8	14～ 15		40	1	418	10～ 29
36	2017	8	14～ 15	2階会議室から1階事務所へ移動中、階段を踏み外し転倒し、肘・足・顔を打撲した。	60	1	413	100 ～ 299
37	2017	8	14～ 15	Aブロック定期利用置場で、顧客対応中に自転車止め用パイプ（高さ40cm）に足を躓いたはずみで転倒し、その際に右膝を強打した。自転車止め用のパイプは、本来は跨いではいけないものと指導していたが、被災者はショートカットしようとして飛び越えようとし、その結果、引っ掛かって躓いてしまった。	74	2	391	1～9
38	2017	8	17～ 18	本社倉庫にて、検品作業をしていたとき、フォークリフトのリフトマン（同僚）が後方確認をせずにバックし、自分もそれに気づかなかったため、右足がタイヤに轢かれ負傷した。	67	6	222	10～ 29
39	2017	8	21～ 22	お客様宅を訪問後、自転車を取りに建物の裏側に歩いて向かうとき、後方からの自転車の接近に気づき、右に避けたところ足を踏み外してしまい、1.4m程の高さの溝に落下し、腰と左足を強打して負傷した。	26	1	418	50～ 99
40	2017	8	14～ 15	建物正面側2Fで、環境整備として、窓ガラス外側の清掃を行っていたとき、30cm程の段差に上った作業中、移動したときに足を滑らせ段差から落ちた。その際、少し右側に倒れるようになったため、右手から先に地面についてしまい、右手首を骨折した。	54	1	416	50～ 99
41	2017	8	15～	配送センターの倉庫内で作業中の被災者が、商品（会議テーブル）が縦積みされたカゴ台車付近を通行したとき、カゴ台車が	67	6	611	10～

			16	ら倒れてきた商品とぶつかり、骨盤を骨折した。					29
42	2017	8	12~ 13	オフィス内のサーバールームで、保管してあるサーバーに付いている番号を書類と目視で確認した。不安全な環境ではないが、サーバーがたくさん保管しており、高所にもサーバーがあるため、上を向いて目視する場合もある。当日は、作業が長引いたので長時間上を向く作業姿勢をとっていたため、首に負担がかかった。	37	19	921	30~ 49	
43	2017	8	23~ 24	業務中、会社へ戻る途中に二輪車で信号のある交差点を直進していたとき、対向車両（左折）と衝突した交通事故である（双方ともに信号は青）。	29	17	231	50~ 99	
44	2017	8	14~ 15	家畜診療所にて、体重概ね600kgの手術牛を係留場から手術室内へ左手に頭絡、右手に手綱を引いて搬入していた時に急に牛が走り出したので、頭絡を持ったままの左手で制しようとした際に牛が首を激しく振った為に手首を捻った。	41	19	719	300 ~ 499	
45	2017	7	16~17	当組織が分収造林契約をしている山林内において、崖沿いで販売区域明示作業をしていたところ、崖の際が草で見えず、滑って足を踏み外し、3m程度下の沢へ滑落し、左膝頭骨高原骨折をした。	40	1	911	1~9	
46	2017	7	10~11	喪家の床の間飾り付けの時脚立に上がって床の間に幕を張っていたところ、バランスを崩して脚立ごと倒れてしまい、左膝、右腕を負傷した。	57	1	371	1~9	
47	2017	7	17~18	立ち乗りリフトを運転して倉庫内で荷物を運ぶ作業をしていた。その際、バック走行で右側に曲がるためハンドル操作を行ったが、ハンドルの持ち手（グリップ）から手が抜けて右方向へ曲がるハンドル操作が充分でなかったため、ほぼ直進状態でのバック走行となった。このためリフトが壁に衝突しそうになったので、これを回避するため、慌ててブレーキ（ペダル	23	7	222	10~ 29	





55	2017	6	19～ 20	帰宅後、両手の人差し指・中指・薬指の計3本の指の付根付近に痛みとしびれが生じた。翌日に病院を受診したところ、腱鞘炎と診断された。その後も業務に従事し続けたところ、痛みがひかず、新たに親指にも痛みが生じ、手根管症候群と診断された。	43	90	911	30～ 49
56	2017	6	3～4	物流センターチルド庫内で仕分け作業をする際、パレット上に荷物を載せる作業を繰り返していたところ、両足（特に左足）膝の裏側に違和感と痛みを覚えた。	49	19	611	30～ 49
57	2017	6	16～ 17	レンタカー回送中、被災地の交差点にて、赤信号に変わったため減速し停止しようとしたが、ブレーキの踏みがあまく、信号待ち停車中の車両に追突した。	22	17	231	1～9
58	2017	6	16～ 17	子供達とサッカーをしている時、ゴールの前に立ち（ゴールキーパーをしていたため）ボールを受けようとしたところバランスを崩し、左手から地面に着地し、左手薬指を骨折した。	21	3	711	1～9
59	2017	6	21～ 22	一般道路上でパンクスペアタイヤ交換作業を終え、路上に設置していた三角停止板を自車の後方ドアを開け収納中に、後方より走行して来た相手車両が自車右後部に追突し、自車の車体とドアに右下腿部を挟まれた。	29	17	231	10～ 29
60	2017	6	13～ 14	被災者は枝切り作業中に、小指がチェーンソーに触れてしまい切ってしまった。被災者は皮手袋をしていたが、負傷してしまった。	28	8	136	500 ～ 999
61	2017	6	13～ 14	緑地帯で、脚立を使用して街路灯のランプ交換をしていた。安全帯ロープを街路灯に巻きつける段階で、ロープが届かなかったため、脚立の反対側に体を移動させてロープを巻きつけようとしたところ、脚立が傾くと同時に本人も左膝を捻りながら転倒し、左膝を地面に強打した。その際、激痛がはしたが、我慢してランプ交換作業を続けた。翌朝、脚が腫れ、痛みが増した。	51	1	371	10～ 29

62	2017	6	13~ 14	自社建物内にて、受荷である（主に衣類の入った）ダンボール箱（10kg程度）を両手で抱え持ち、1階から2階へ階段で運び上げる際（ダムウェーター等無し）、踊り場から2,3段上下段で体がよろけ、そのはずみで転倒し、回転しながら1階まで転落した。階段部分と1階転落地点で、頭部と全身を強打した。	43	1	413	10~ 29
63	2017	6	8~9	開園前、清掃業者が日常清掃として1階ホール床の水拭き掃除をしたが、乾ききっていないところに、来園者への案内表示を取り替えるために通行し、滑って転倒した。転倒した際に床に右手をつき、右腕と右肩を強打した。	52	2	417	50~ 99
64	2017	5	0~1	工場内において、プロパティック成型機の部品を洗浄する際、重量のある部品を片手で持ったため指先に負担がかかり、左手小指と薬指の第一関節内側部分の筋と腱を痛めた。	41	19	921	10~ 29
65	2017	5	13~ 14	当社資材置き場において資材の整理作業中、エアコンの室外機（400×900×1,200mm、約100kg）を2人で持ち上げて移動する作業中、息を合わせて両端から両手で抱え持ち上げようとした際に、左肩に激痛が走った。	46	19	921	1~9
66	2017	5	9~ 10	豚係留所内にて作業中、歩行困難な豚を発見したため、尻尾を持ち外へ引きずり出そうとしたところ、手が滑り転倒して、立ち上がるができなくなった。	36	2	911	10~ 29
67	2017	5	14~ 15	客先のライブハウスにて、コンサート本番前、音響システムのチェックを行っていた。ステージ上を移動中にステージの縁に右足を引っ掛けてしまい、バランスを崩して転倒し、両膝を負傷した。	45	2	419	1~9
68	2017	5	14~ 15	飛行中に、ビジネスクラスの客室のリクライニング機能が故障し、他の乗務員2名と共に手動操作を試みた。2名が前方よりシートを引き、当該社員は後方から背もたれを全体重をかけながら左手で押し、右手はシートの電動ボタンを押しながら、何度もゆすりながら押ししてみた。電動シートを手動で操作する	39	19	391	100 ~

				には、多大な力が必要であり、作業後に左手の親指の動きが悪くなり、痛みが発生した。乗務翌日には、肘、肩甲骨、首、肩にも痛みが発生した。				299
69	2017	5	11～ 12	図書館内で70～80冊の本が入っている箱を台車に載せようと持ち上げた際、重さでバランスを崩し不自然な体勢になってしまった時、強い痛みが起きた。	22	19	611	10～ 29
70	2017	4	15～ 16	2日間に行われたイベントで、ピザ生地を1,000枚ほど練る工程で両手に負担がかかり、腱鞘炎になった。（通常は1日100枚程度）	43	19	921	1000 ～ 9999
71	2017	4	8～9	交流センターで清掃中、ロッカー上部にハタキをかけるため、イスの上でつま先立ちになり、イスが傾き転倒した。	63	2	371	1～9
72	2017	4	5～6	パンの配送中、後部荷台から地面に降りるため右足をステップにかけ、左足を地面に着地した時に捻り、左足小指の付け根部分を骨折した。	44	19	221	50～ 99
73	2017	4	15～ 16	異常ETC対応のため車線へ慌てて向かったところ、ピットのフタ（鉄板）につまずき前に転倒し、両膝と左手をついた。お客様対応のためそのまま処理を行い、対応後に痛みがあった。	51	2	418	1～9
74	2017	4	16～ 17	害虫駆除施工宅の物置を薬剤処理するため、ブロック塀に上り作業していたところ、塀から下りる際に足を受傷した。	34	1	416	10～ 29
75	2017	4	10～ 11	執務室の打ち合せデスクで書類のファイリングをする為、穴あけパンチで作業をしている際、紙を押さえて穴をあける時に誤って指を機械に挟んでしまい、爪と皮膚の一部を切断した。	46	7	379	1000 ～ 9999
76	2017	4	15～ 16	社内の作業置場で資材等の片付けのため重機（ショベルカー）を使用していたが停止中であった。被災労働者が後方から近寄り、指示を仰ぐとオペレーターに声をかけた際、それに答えようとオペレーターが中腰で立ち上がり、上着のベストの一部が走行レバーに引っ掛かって重機が後方に動き出してしまっ	44	7	142	1～9

				た。被災労働者は重機を避けることが出来ず、重機の右後方部分のキャタピラ2枚程度の箇所です右足の甲を轢いてしまった。				
77	2017	3	11~12	敷地内において庭木の枝打ち作業中、脚立に上り枝をのこぎりで切っていたところ、脚立の座りが悪かったため、体の重心の移動の際に脚立が揺れ、バランスを崩して地面に落下し、腰骨を負傷した。	57	1	371	1~9
78	2017	3	16~17	プレハブ解体現場にてプレハブ解体中、足場から足を踏み外し、約2m下に転落し、右膝皿が亀裂した。	57	1	418	1~9
79	2017	3	14~15	機械棟地下にて上階からの漏水を確認し、作業員5名で漏水箇所調査のため、二連梯子を使用して地下2階から地下1階へ移動中、3番目に昇っていた被災者が地下1階から地下2階の床面まで約5m転落した。	40	1	371	30~49
80	2017	3	9~10	大ホールの階段を利用した（1階~2階）スプリングコンサートを開催した。使用するマイク等機材を3階の音響調整室へ持って行くため、大ホールの階段を駆け上がったところ、2階から3階へかけて3段目位の所で足を踏みはずし、階段に手をつく状態で転倒し、左足首アキレス腱を負傷した。	54	2	413	30~49
81	2017	3	4~5	倉庫内においてトラックの荷台からストロングペッカーを降ろす際、重心を失って荷台から落ちけがをした。	66	1	362	10~29
82	2017	3	1~2	被災者が食事休憩を終え、構内ホームにて作業前の準備中、ジョイントコントローラー代わりに使用していた跳ね上げローラーを別の引き込みローラーに接続しようとした際、跳ね上げローラーが外れてしまい、跳ね上げローラーの連結部分に指を挟んだ状態で倒れ込み、左手小指を裂傷した。	40	7	224	50~99
83	2017	3	15~16	被災者は、当社で機密書類溶解処理作業補助業務に従事していた。減容機の停止に伴い（休憩のため）、出口に残っている解かれた紙が乾いて詰まってしまうのを防ぐため、バールで取	32	7	391	1~9

				り除こうとしたところ、バールと出口の金具の間に右手中指を挟み負傷した。				
84	2017	3	17~18	退勤時、就業場所の階段で1Fに下りる途中、2Fの踊り場に立ったところで、2Fフロアに通じる扉が突然開いたため、扉が身体にぶつかり、その勢いで身体が飛ばされ転倒し、右腰と右背中を2F階段の辺りに強打し打撲した。	48	2	911	500 ~ 999
85	2017	2	14~15	当社の倉庫内にて、台車を押している時右足を捻って負傷したものである。	30	19	921	10~ 29
86	2017	2	11~12	テナントから通報がありB1Fから現場に向かう途中にある地下1階飲食街のエスカレーター横、4段の階段を降り切った時、右足に体の重心と全体重がかかったことで、突然右足に激痛がはしり、そのまま歩けない状態となった。無線で応援を依頼し同僚の方を借りて戻ったが、以降、自力で歩けない状態となった。	63	19	413	—
87	2017	2	9~10	勤務地の駐車場を歩いている時、車輪止めに足をかけて転倒した。両手に荷物を持っていた為、左手及び胸部を強打した。	57	2	418	300 ~ 499
88	2017	2	10~11	下水道本管を浚渫作業中にラード（油の固まり）が見つかり、本来なら高圧洗浄車のメインホースは車体に取り付けられている機械の力で送り出し、巻き取りを行うが、ラードをピンポイントに除去する方法に変更し、手引き（人力）で作業した。その際、中腰の無理な姿勢で圧力のかかっているホースをひねったり、自転しながら引っ張って作業をしていたので、突然腰に激しい痛みが出た。	36	19	921	50~ 99
89	2017	2	11~12	枯れた松の木を切り倒してチェーンソーで短く切り分ける作業をしている時、枝を切り落とす為にブレードを下方から上方に向けて入れた時に、チェーンソーがはねて、反動で被災者の左足側面に当たり、負傷したものである。	42	8	136	100 ~ 299

90	2017	2	8~9	駐車場にバイクを停車させる際に、ブレーキをかけ、完全に停車後そのまま左側に転倒した。バイクの下敷きになってしまった。	63	2	231	10~ 29
91	2017	2	11~12	30kg程の荷物を中腰の姿勢でダンボールに出し入れする作業中はかりを見て調整するため体を何度か上下させていた。そして、片付けておいたダンボールをまとめて拾おうとした時、背中全体に電気をはしらせたような痛みを感じた。	38	19	921	30~ 49
92	2017	2	10~11	会社工場で石油缶に入っている30kg位の荷物を移動中に足を滑らせ右膝に違和感を感じ、午後に痛みが強くなり受診した。その後、翌月会社で作業中、パレットに荷物を載せようとして負傷している足のつま先をパレットにぶつけ痛みが強くなる。	28	19	611	—
93	2017	2	7~8	早番勤務中、忘れ物を取りにロッカー室に戻る。途中、屋外の路面凍結した場所で転倒した。その際に左手をついて受傷した。	65	2	417	10~ 29
94	2017	1	8~9	測量地点から車へ戻るため、張りコンクリート道路を歩行中、通路欠落部分に足を滑らせて落下し、負傷した。	53	1	417	10~ 29
95	2017	1	9~ 10	事務所からゴミ箱に向かっていた途中、犬走りの段差につまずき右ひじを強打し、両手手のひらもすり傷だらけになった。	63	2	418	—
96	2017	1	23~ 24	イベント会場からテントの撤収作業中に、テント上部分を両手で持ち上げて脚部を折りたたもうとした際、勢いあまってテントの骨が右足くるぶしに落下し、それが直撃して負傷した。	30	4	419	—
97	2017	1	21~ 22	営業先のお客様宅に向かう道中の駐車を歩いている際、暗闇の中、地面が凍結していることに気づかず、足を滑らせ、首からかけていた携帯端末が脇に挟まり、そのまま転倒し、胸を強打した。	44	2	719	100 ~ 299
98	2017	1	8~9	右手でハンマーを持って、ブロックの上を叩く時、誤って右手の小指を叩いてしまい、爪がとれた。	37	6	364	1~9

99	2017	1	9～ 10	発掘現場にて、箕（み）を持つての移動中、発掘した孔につま ずき転倒し、持っていた箕が左胸に当たり、肋骨を骨折した。	68	2	416	1～9
100	2017	1	8～9	出張先にて機材搬入作業中、スロープの途中でベニヤの乗って いた台車のキャスターのブレーキを外していたところ、台車が 下がってきて台車のキャスターに右手人差し指が巻き込まれて しまった。	27	7	362	50～ 99

出典：[https://anzeninfo.mhlw.go.jp/anzen\\_pgm/SHISYO\\_FND.html](https://anzeninfo.mhlw.go.jp/anzen_pgm/SHISYO_FND.html)(職場のあんぜんサイト)

参考：[労働災害の分類の概要](#)

[各小業種における死傷災害100事例（-2017年）](#)に戻る。